

授業科目：介護予防実習	4年次	必修	2単位	90時間	実習
-------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
90	介護予防実習	実習要項参照
目的：地域の高齢者が住みなれた地域でその人らしく暮らすための介護予防支援をする基礎的能力を養う。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合支援事業の目的を理解し、そこに携わる専門職の活動やサービスの実際を学ぶ。 2. フレイル状態・要支援・要介護状態にある対象について介護予防プラン・介護度が重くならないためのプランを作成し一部実践する。 3. 通所介護事業所を利用する人々の身体状況・生活状況を捉え健康教育を実施，評価する。 4. 介護予防・介護度進行予防に向けた地域の取り組みの意義を考察する。 		
実務経験のある教員：		
評価方法：実習内容、実習態度などを総合的に評価する。		
先修科目：なし		
実習場所：通所介護（ディサービスセンター）・通所リハビリ（ディケア）		

授業科目：訪問看護展開実習	4年次	必修	2単位	90時間	実習
---------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
90	訪問看護展開実習	実習要項参照
目的：在宅療養者とその家族について理解し、対象が望む生活を継続するための訪問看護を実践できる基礎的能力を養う。		
目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅療養者と家族の健康状態と生活の状況を捉えることができる。 2. 在宅療養者と家族の状況を様々な視点からアセスメントすることができる。 3. アセスメントをふまえて訪問看護計画を立案し、在宅療養者や家族の状況に合わせて看護を実践し、評価する。 4. 在宅療養者及び家族の自己決定を支援する関わり方の実際を説明する。 		
実務経験のある教員：川部 弘子 訪問看護師としての経験を活かし、学生が在宅療養者とその家族について理解し、対象が望む生活を継続するための訪問看護を実践できる基礎的能力を身につけることを支援する。		
評価方法：実習評価表に基づき評価する。		
先修科目：なし		
実習場所：訪問看護ステーション		

授業科目：専門職連携実習	4年次	必修	1単位	45時間	実習
--------------	-----	----	-----	------	----

時間	項目	内容
45	専門職連携実習	実習要項参照

目的：対象の目標達成・課題解決に向けてより良い方法を、他職種と共にとともに検討することができる基礎的能力を身につける。

目標：
 1. 在宅ケアにおけるサービス担当専門職種・機関や地域住民の連携の実際を学ぶ。
 2. 病院の退院支援部門の活動と地域の保健医療福祉専門職との連携の実際を学ぶ。
 3. 多職種連携において看護専門職が果たす役割について実習体験をもとに考察する。

実務経験のある教員：川部 弘子
 訪問看護師としての経験を活かし、学生が在宅における他職種連携の基礎的能力を身につけることを支援する。

評価方法：実習評価表に基づき評価する。

先修科目：なし

実習場所：地域包括支援センター，居宅介護支援事業所，病院の退院支援部門